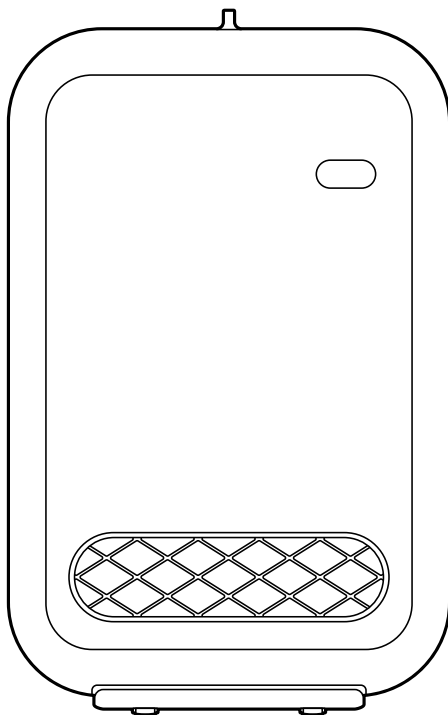


取扱説明書(WEB)

セラミックファンヒーター

型番:ACH-EM12C [室内・家庭用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外になる事があります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P6](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルについては、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

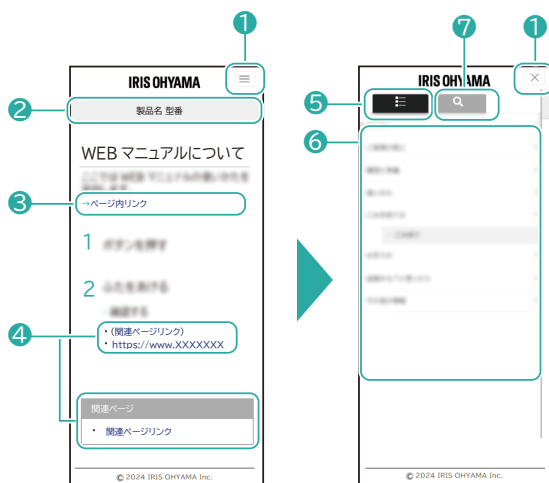
ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

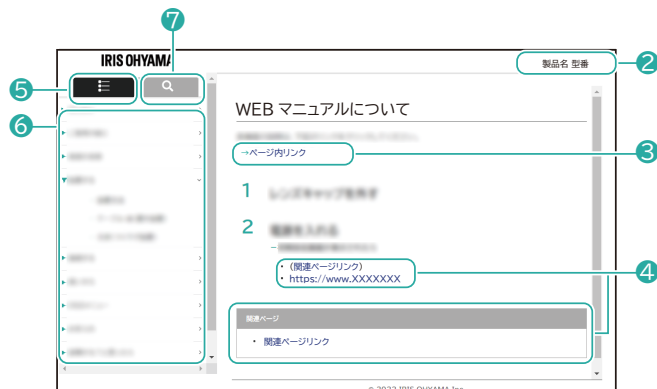
- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

—WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

一 検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に.....	6
安全上の注意.....	6
使用上の注意.....	10
設置について.....	11
各部のなまえ.....	12
使いかた.....	14
使いかた.....	14
人感センサー自動運転にすると.....	16
転倒時安全装置が働いたときは.....	18
お手入れ.....	19
お手入れ方法.....	19
こんなときは.....	21
故障かな？と思ったら.....	21
保管のしかた.....	24
廃棄について.....	24
その他の情報.....	25
仕様.....	25
保証とアフターサービス.....	26
保証規定.....	27
お問い合わせ.....	28

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P6](#)

→ [注意 P8](#)

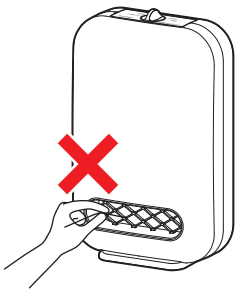
図記号の意味

		
注意を促す記号です。	禁止を示す記号です。	必ず行うことを示す記号です。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 分解禁止	・ 分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール P28( 電話をかける)にご相談ください。
 水ぬれ禁止	・ 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない ・ 水につけたり、水をかけたりしない 火災・感電の原因になります。
	・ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電・発煙のおそれがあります。 〔異常の例〕 ・ 異常な音やにおいがする ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ・ 運転中時々電源が切れる ・ 触れるとピリピリ電気をを感じる 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P28( 電話をかける)へお問い合わせください。

	・電源プラグのほこりは定期的にとる ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 ・電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。 ・電源は交流 100V、定格 15A 以上のコンセントを単独で使う 火災の原因になります。
	・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コール P28 (☎ 電話をかける) へお問い合わせください。 ・電源コードを束ねて使用しない 火災・やけどの原因になります。電源コードは必ずのばして使用してください。 ・電源コードを傷つけない 傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない 火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	・お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電・けがの原因になります。
 ぬれ手禁止	・ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	・屋外では使用しない ショートによる火災・感電の原因になります。 ・梱包用のポリ袋で子どもに遊ばせない 窒息のおそれがあります。 ・吹き出し口やすき間にピンや針金、金属物などの異物や手を入れない 火災・感電・けがの原因になります。 異物が中に入ったときは、お買い上げの販売店または修理専用コール P28 (☎ 電話をかける) にご相談ください。  ・スプレーをかけない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など) ・引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない

- ・ 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。
- ・ スプレー缶などを近くに置かない
爆発のおそれがあります。



誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生する内容を示しています。



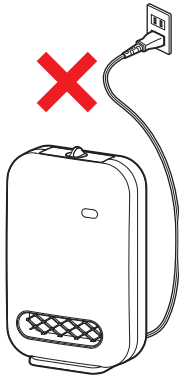
- ・ 子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。
- ・ 長時間同じ部位に温風を当てない
- ・ 皮膚感覚の弱い人、身体の不自由な人に長時間使用しない
低温やけどの原因になります。
- ・ 背面の吸気口をふさがない
- ・ 暖房以外の用途に使用しない
- ・ 業務用など家庭用以外で使用しない
火災の原因になります。
- ・ フィルターを装着せずに運転しない
吸い込まれたほこりなどに引火して火災の原因になります。
- ・ ペット用には使用しない
ペットの健康を害するおそれがあります。
またペットが電源コードを噛む場合は、近づけないでください。



- ・ 温風が、壁や家具、カーテン、電気製品などに直接当たらないところに設置する
設置の際は、壁・家具・カーテンなどから距離を空ける(前方 60cm 以上、後方 10cm 以上、
左右 30cm 以上、上方 50cm 以上(→[設置について P11](#))
壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらに火災の原因になります。
また、人感センサーの誤動作の可能性があります。
- ・ 背面と壁の間を最低 10cm 以上空ける
吸気口がふさがれて、動作不良の原因になります。
- ・ 水平で安定した床の上で使用する
毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して火災の原因になります。
また、台の上に設置すると、落下して火災やけがの原因になります。



- ・ 暖房器具・ホットカーペットなど電気製品の上に設置しない
火災の原因になります。
- ・ リモコンやパソコンなど精密機器を近くに置かない
機器の故障の原因になります。

	・コンセントの下に設置しないでください。 火災の原因になります。 
 火気禁止	・火気・暖房器具などに近づけない 発火して火災の原因になります。 また、温風で暖房器具の炎が大きくなり、火災・やけどの原因になります。 ・火のついたたばこ・線香などを近づけない 火災の原因になります。
	・本体を持ち上げるときは、送風口に手を入れない やけどの原因になります。 ・上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない 転倒によるけがや火災の原因になります。
 接触禁止	・使用中や使用後は送風口など熱い部分に触れない やけどの原因になります。 お手入れや持ち運びは、本体が十分に冷えてから行ってください。
 プラグを抜く	・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

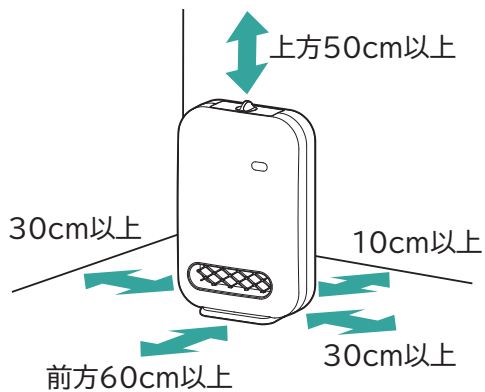
使用上の注意

安全装置について

- ・ 本体が過熱すると、安全のため運転を停止します。(過熱防止安全装置)
過熱防止安全装置が働いて停止したときは、フィルターを掃除し、しばらく放置して本体が十分に冷めてから再度運転してください。
- ・ 人感センサー自動運転中は、人を検知せず停止したまま 8 時間経過すると、電源が切れます。
- ・ 傾いたとき・転倒したときには、転倒スイッチが検知して運転を停止します。(転倒時安全装置)
転倒時安全装置が働いて停止したときは、水平で安定した場所に設置しなおしてください。

設置について

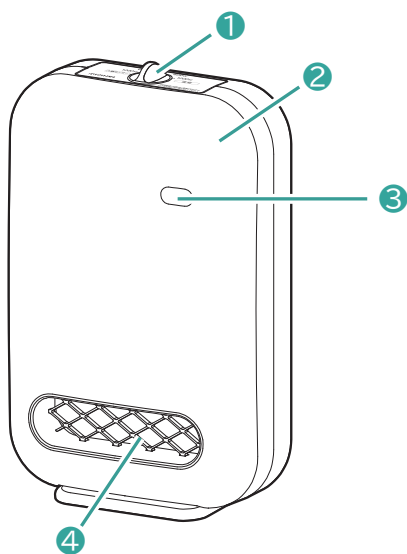
- ・ 温風が、壁や家具、カーテン、電気製品などに直接当たらないところに設置してください。
- ・ 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空けてください。
- ・ 背面と壁の間は最低 10cm 以上空けてください。



- ・ 水平で安定した床の上で使用してください。
- ・ 直射日光の当たる場所や他の暖房器具の近くで使用しないでください。
変形・変色・誤動作の原因になることがあります。
- ・ スピーカーや IH 調理器(電磁調理器)など磁気の出る機器の近くに置かないでください。
正常に運転しないことがあります。
- ・ ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

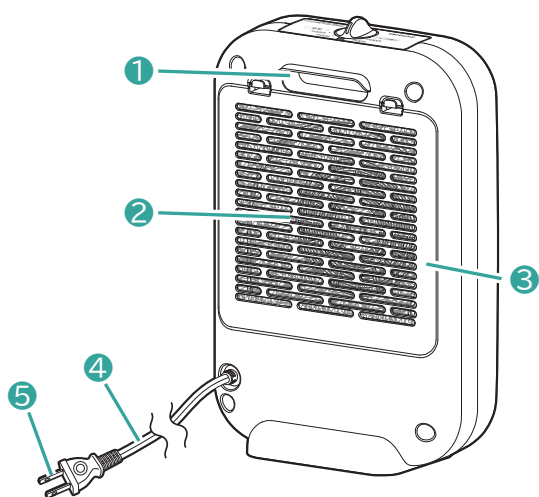
各部のなまえ

■前面



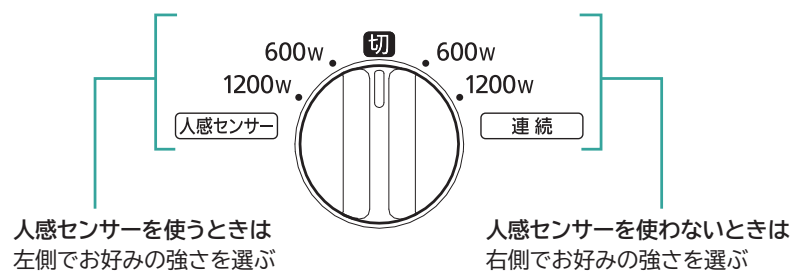
- ① 運転ダイヤル(→ [詳細はこちら P13](#))
- ② 本体
- ③ 人感センサー
- ④ 送風口

■背面



- ① 取っ手
- ② 吸気口
- ③ 電源コード
- ④ 電源プラグ

■操作部



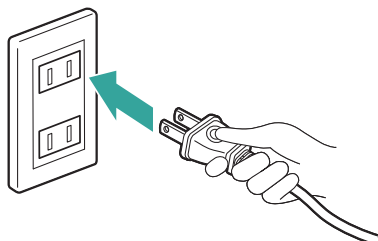
※人感センサーによる自動運転にすると、人感センサーが人の動きを検知している間だけ電源が入る「節電運転」になります。(人の動きを検知しなくなってから 90 秒後に運転を自動的に停止)

使いかた

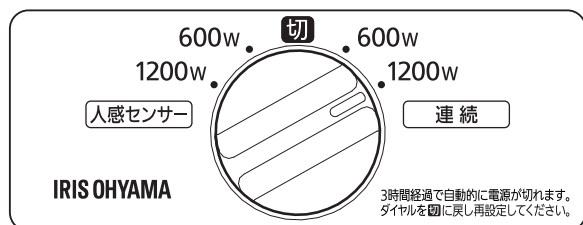
使いかた

電源プラグをコンセントに差し込む

1



運転ダイヤルで運転モードを選ぶ



(イラストは、連続「1200W」を選んだとき)

人感センサー

2

人感センサーにより、温風出力 1200W または 600W で自動運転します。

連続

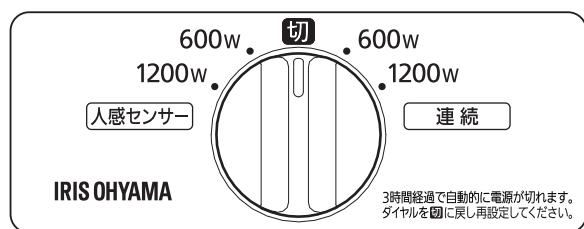
温風出力 1200W または 600W で連続運転します。

- ・ 1200W
ヒーター出力 1200W で連続運転します。
- ・ 600W
ヒーター出力 600W で連続運転します。

※1200W、600W の風量は変わりません。

— 運転を停止するには

運転ダイヤルで切を選ぶと、運転が停止します。



関連ページ

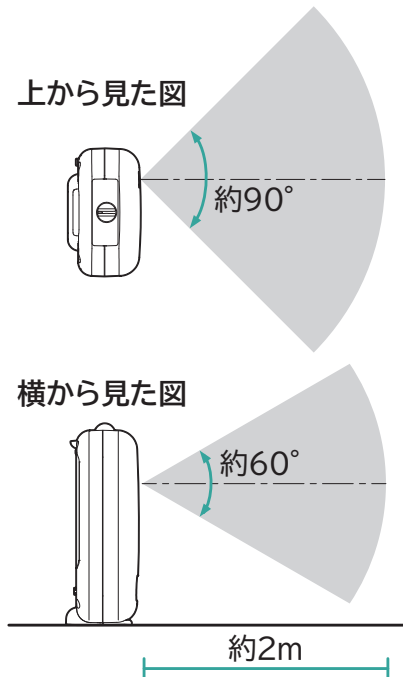
- [人感センサー自動運転にすると P16](#)
- [転倒時安全装置が働いたときは P18](#)

人感センサー自動運転にすると

運転ダイヤルで人感センサー 1200W または 600W を選ぶと、人がいない間は運転を自動的に停止し、人感センサーが人の動きを検知している間だけ電源が入る「節電運転」ができます。

- ・ 人の動きを検知しなくなってから 90 秒後に運転を停止します。人の動きを検知すると運転を再開します。

人感センサーの検知エリア



次のような場合は、検知しなかったり、反応が悪くなったりします。

- ・ 冬季など、衣類を着込んで体温が外に発散されない場合
- ・ 人感センサーに向かって直進した場合
- ・ 室温が高い場合
- ・ 人感センサーの前に障害物がある場合
- ・ 人感センサーが汚れている場合

次のような場所では、作動しなかったり、誤動作することがあります。

- ・ カーテンや植物など風でゆれるものの近く
- ・ 人感センサーや人感センサーの検知エリアに直射日光が当たる場所
- ・ 他の加湿器やエアコンなどの風が当たる場所

人以外のペットや熱を出す器具(他の暖房器具)などにも反応する場合があります。

人がいても、動きが小さかったり、じっとしているときには運転を停止します。

2m 以上離れたところでも反応する場合があります。

関連ページ

- [使いかた P14](#)
- [転倒時安全装置が働いたときは P18](#)

転倒時安全装置が働いたときは

- ・ 傾いたり、転倒したりすると、転倒時安全装置(転倒スイッチ)が働いて運転を停止し電源が切れます。
- ・ 転倒時安全装置(転倒スイッチ)が働いて運転が停止したときは、水平で安定した場所に設置し直してください。



長時間使用しないときや就寝時は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

関連ページ

- ・ [使いかた P14](#)
- ・ [人感センサー自動運転にすると P16](#)

お手入れ

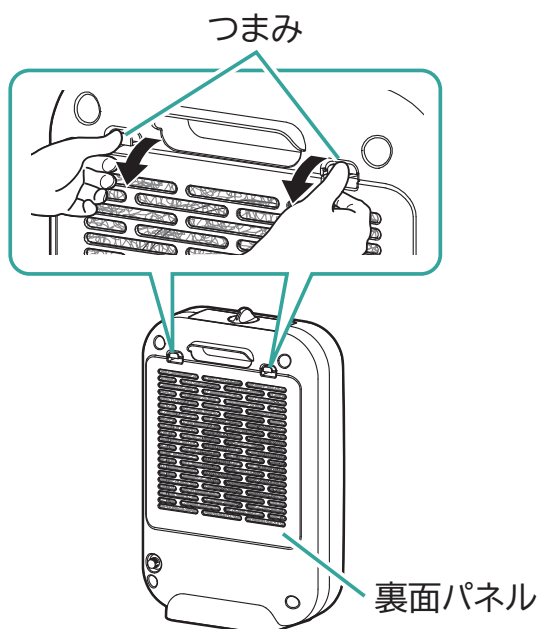
お手入れ方法



必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、十分に本体が冷えてから行ってください。

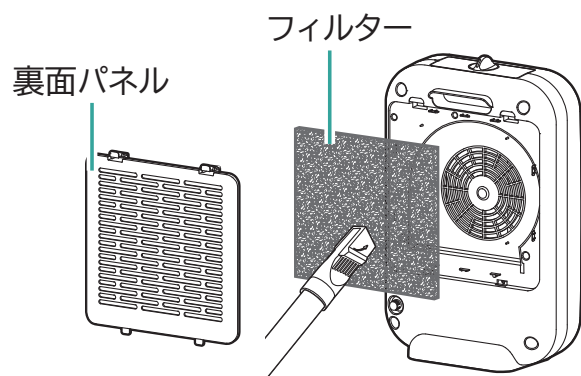
■裏面パネル・フィルター

つまみを押し下げて裏面パネルを外す



吸気口カバーと集じんフィルターのほこりを取り除く

掃除機などでほこりを取り除いた後、集じんフィルターを入れてください。



・ フィルターは水洗いしないでください。

- ・ フィルターが破損するおそれがあるので、ていねいに扱ってください。
- ・ フィルターを外したまま運転しないでください。ほこりが内部に入って故障の原因になります。

※フィルターが破損した場合は、[アイリスコール P28](#) (☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。

ほこりを取り除いたあと、フィルターを入れてください。

■本体外側

本体外側はよく絞ったふきんで拭く

(汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、かたく絞った布などで洗剤分を拭き取る)



- ・ フィルターは水洗いしないでください。
- ・ フィルターは、手荒に扱うと破損するおそれがあるので、ていねいに扱ってください。(フィルターが破損した場合は、[アイリスコール P28](#) (☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。)
- ・ 黒色の粉末がフィルターから出てくることがあります。こぼれたり、本体に付着した粉末は拭き取ってください。
- ・ お手入れは1か月に1回程度行い、ほこりがたまらないようにしてください。
- ・ 本体に水をかけたり、水洗いをしないでください。
- ・ シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。変色・変形・変質・破損・故障の原因になります。

こんなときは

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

— 電源が入らない

→電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない可能性があります。

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。(→[使いかた P14](#))

→本体が傾いて、転倒時安全装置(転倒スイッチ)が働いている可能性があります。

水平で安定した場所に設置しなおしてから、運転ダイヤルを切にして、再度お好みの運転モードを選んでください。

(→[設置について P11](#)、[転倒時安全装置が働いたときは P18](#))

→過熱防止安全装置が働いている可能性があります。

裏面パネルを外してからフィルターを掃除し、しばらくしてから電源プラグを差しなおし、再度電源を入れてください。

(→[お手入れ方法 P19](#))

— 電源が切れた

→転倒時安全装置(傾きセンサー)が働いている可能性があります。

水平で安定した場所に設置しなおしてから、運転ダイヤルを切にして、再度お好みの運転モードを選んでください。

(→[設置について P11](#)、[転倒時安全装置が働いたときは P18](#))

→過熱防止安全装置が働いた可能性があります。

裏面パネルを外してからフィルターを掃除し、しばらくしてから電源プラグを差しなおし、再度電源を入れてください。

(→[お手入れ方法 P19](#))

→人感センサーが何も検知せずに 8 時間経過した可能性があります。

運転ダイヤルを切にして、再度お好みの運転モードを選んでください。

— 暖かにならない

→使用している部屋が広すぎる可能性があります。

適用床面積以内の部屋で使用してください。(→[暖房の適用床面積\(目安\) P25](#))

→ドアや窓が開いている可能性があります。

暖房効率を上げるために、できるだけ部屋を密閉してください。

→送風モードまたは 600 W で運転していませんか。

温風温度を上げるために、1200 W を選んでください。(→[使いかた P14](#))

ーにおいがする

→フィルターにごみがたまっている可能性があります。

裏面パネルを外し、フィルターのごみを取り除いてください。(→[お手入れ方法 P19](#))

→初めての使用ではありませんか。

初めて使用するとき、においが出ることがありますが、異常ではありません。使用に伴い、しだいになくなります。

ー人感センサー自動運転中に、人がいないのに温風が出る

→検知エリアに、風で動く植物や洗濯物・暖房機器・直射日光の当たる場所・その他の熱源などがある可能性があります。

検知エリアから誤動作の原因を取り除くか、他の熱源のないところに人感センサー(本体正面)を向けてください。

(→[人感センサー自動運転にすると P16](#))

ー人感センサー自動運転中に、人がいるのに温風が出ない

→検知エリアに人がいないのではありませんか。

人がいるところに人感センサー(本体正面)を向けるようにしてください。

→人が静止しているので検知しない可能性があります。

手などを動かしてみてください。

→人感センサーに向かって直進しているので検知できない可能性があります。

検知エリアを横切るように動いてください。

→人感センサーの前に障害物があるので動きを検知できない可能性があります。

障害物を取り除いてください。(→[人感センサー自動運転にすると P16](#))

→人感センサーが汚れていると検知できない可能性があります。

人感センサーの汚れを柔らかい布などで拭き取ってください。(→[お手入れ方法 P19](#))

→周囲の温度が高いと、体温との差が少ないので検知できない可能性があります。

→冬季など、衣類を着込んでいると体温が外に発散されないため、検知できない可能性があります。

周囲との温度差が小さいと検知しにくいことがあります。故障ではありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P28](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。



ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

長年ご使用のセラミックファンヒーターの点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか

- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- ・ 電源を入れても、時々運転しないときがある
- ・ 運転中に異常な音がする
- ・ 電源コードが傷ついている
- ・ その他異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店または[アイリスコール P28](#)（☎ [電話をかける](#)）に点検をご依頼ください。

保管のしかた

長期間使用しない場合は、本体にポリ袋などをかぶせて、直射日光の当たらない湿気の少ない場所に保管してください。

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

その他の情報

仕様

定格電圧	100V	
定格周波数	50/60Hz	
運転ダイヤル	600 w	1200 w
定格消費電力	630 / 600W	1250 / 1150W
製品寸法(本体)	幅 230×奥行 130×高さ 365mm(電源コード含まず)	
製品重量	約 2.0kg	
電源コード	1.6m	
安全装置	温度ヒューズ、電流ヒューズ、バイメタル、傾斜センサー	

※ 製品の仕様は予告なく変更することがあります。

— 暖房の適用床面積(目安)

断熱材の厚み	木造住宅	コンクリート住宅
なし	約 3 畳(4.9 m ²)まで	約 4.5 畳(6.9 m ²)まで
50mm	約 6 畳(8.6 m ²)まで	約 8 畳(12.9 m ²)まで

※ 暖房の目安は、一般社団法人日本電機工業会の統一基準に準拠しています。

室内外温度差 15℃以内の地区で、暖房設定温度(暖房快適室温)20℃としたときを基準とし、1 畳 = 1.65 m²(50Hz)として小数点第 1 位を切り上げています。

目安表示値の基準値

住宅の種類	木造住宅		コンクリート住宅	
断熱材の厚み	なし	50mm	なし	50mm
1 m ² あたりの必要 W 数	244W	140W	174W	93W

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は「かんたん操作ガイド」の裏面にあります。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内でも無償保証の対象外になる場合があります。
詳しくは「かんたん操作ガイド」の裏面の保証規定を参照ください。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール P28](#)(☎ [電話をかける](#))にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P28](#)(☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P28](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/parts/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>